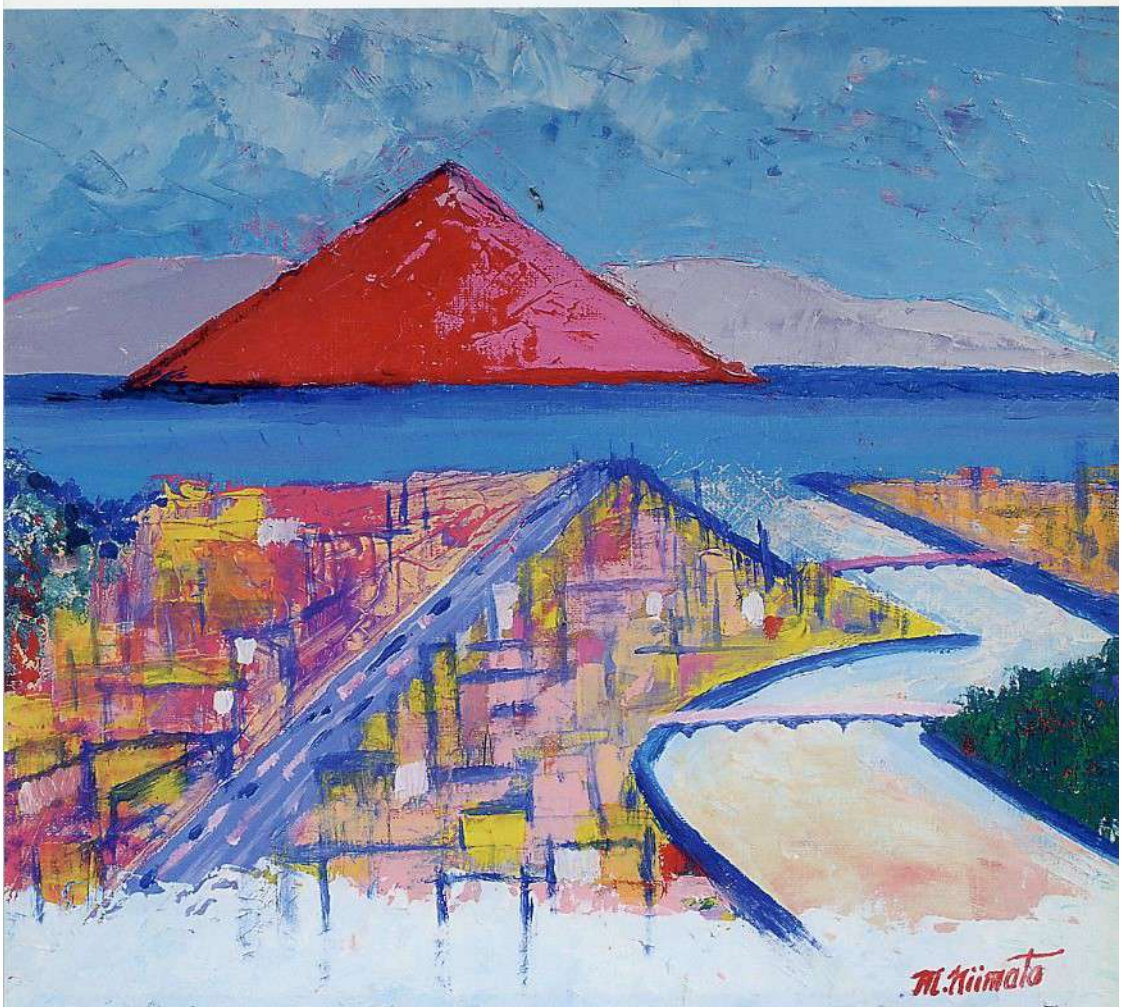


ヒロシマ

HIROSHIMA



M. Kimata

2009(上)

---

---

ペ

ン

HIROSHIMA

2009(上)



広島ペンクラブ

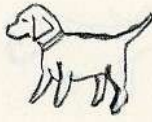
---

---

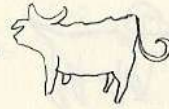


# 《目次》

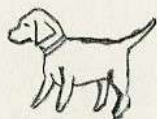
大木 茂……………	遺稿 広島春趣……………	1
碓井 静照……………	日本古代史を思う(20)……………	2
田中 康夫……………	旅ゆけば……(9) こんぴら船々追風に……………	3
高橋 昭三……………	ありがとう……………	4
小野 文孝……………	たそがれのさざなみ……………	5
田中 登……………	行政の都合、不都合……………	6
上田みどり……………	コミュニティバス・タクシーの効用……………	7
保手濱神龍……………	即 事……………	8
木村 進匡……………	エネルギーをどうする……………	9
井尾 義信……………	電話応対を競う……………	10
阿部 律子……………	母への手紙……………	11
新川 貞之……………	福井芳郎画伯……………	12
森田 繁昌……………	風の丘を越えて〜西便制……………	13
川堀 耕平……………	藤部隊の十九年兵(二)……………	14
久村 敬夫……………	あれから十三年……………	15
大和喜久男……………	「笑い」の研究(9)……………	16
佐藤伊佐雄……………	「日本の紙」を守れ……………	17
豊嶋 睦……………	一家団欒の旅……………	18
天瀬 裕康……………	初演、再演、多演……………	19
迫田 勝明……………	桑の実……………	20
由田千鶴子……………	胡 瓜……………	21
北川 建次……………	宇品の話(その二)……………	22
亀井 一夫……………	錦帯橋の古材……………	23
岩佐すみえ……………	ジョージア……………	24



新田	和雄	知足・共棲・而遊	25
足立	柳子	いのちをつなく食	26
片柳	寛	借曲 河	27
正木	嗣鵬	中国渡来人の書(6) 黄檗の書、その前に	28
東堂	光教	夫婦善哉	29
村上	通明	花あかり	30
高橋	昭博	一〇分少々でも効果のあった「被爆体験談」	31
千葉	佳子	音楽への扉	32
小杉	葛雄	出雲大社御神体の謎	33
廣田	健吾	心象への飛翔	34
松村	誠	北朝鮮と属人器	35
前原	美穂	木曾の仲乗りさん	36
児玉	光禎	広島市は核兵器から市民を守ることができない(無策)	37
松本	義之	時事偶感	38
伊勢	眞介	老いの断片	39
谷本	直隆	よみがえった森林	40
福田	康彦	ゴルフ考	41
山本	光珠	百合	42
玉井田	泰	SUG	43
西村	哲郎	建設コンサルタントに従事して思うこと(その2)	44
上田	由美子	ガラスの器	45
井上	哲一	ユネスコ活動を通して世界平和を	46
赤松	和彦	連絡船	47
熊田	幸子	夢のつづき	48
中尾	建三	花の散るからに	49
江川	政昭	宇宙大航海時代	50



籬	かほる	ひふほくはい	51
三上寿磨子	命のバトンタッチ		52
夏目 康文	天女とその人の街		53
石井 康隆	景観泥棒		54
中下 稔子	猫じやらし		55
田上公一郎	梅幻寺月光の庭(その九)		56
垣内 稔	女権と妻の座権の高まりの果てに		57
永田 稔衛	米寿の溜め息		58
袁 葉	「五輪」の花開く北京		59
吉村 馬洗	秋遍路		60
吉中 康麿	不登校の子どもたちに光を		61
中島 脩	鳥瞰都市		62
田中 泉	カリフォルニアをドライブする!		63
大谷 育平	藍よりも青く		64
新本 稔	置きみやげ		65
長谷川是求	山本雅先生の「米純文学」の授業		66
高橋 博暢	加齢と病気		67
笈 義之	赤い夕日の鞍山		68
世木田寛子	恩		69
小笠 邦久	旅(その一) 淡路島派遣		70
大谷美奈子	家庭菜園		71
吉村 良哉	「一本の鉛筆」が生まれた日		72
今泉ただし	続コガネムシ		73
稲田 公子	大蛇いろいろ		74
花井 隆爾	流れる花びら		75
平塩 清種	従容として		76



渡辺 玲子……国際ソロブチミスト大会・台湾……………77  
 務中 昌己……「母性愛」異聞……………78  
 板倉 昭子……あとの祭り……………79  
 川村 毅……北京五輪に思う……………80  
 舛井 寛一……ハンガリーの美女(中)……………81

広島ペンクラブ規約……………82

編集人記……………84

表紙の言葉……………85

■表紙題字／大木 茂 ■目次カット／川堀 耕平  
 ■扉／迫田 勝明 ■ギャラリー／保手濱神龍／岩佐すみえ

安芸の小富士

新本 稔(にいつもと) みのる) 油彩8号

紙 昭和十四年(一九三九)広島市生まれ。修道高校より、広島大学医学部入学、卒業後広島大学病院(腫瘍外科)に勤務。平成二年(一九九〇)に広島市八丁堀福屋十一階に新本クリニック(外科)を開業する。現在、広島県医師会常任理事。絵を描く医師の集いの「杏林画会」に所属する。平成八年(一九九六)広島ペンクラブに入会。

- 高陽ニュータウン病院……………86
- 日本基準寝具……………87
- 広島経済大学……………88
- 中尾鉄工所……………89
- 新本クリニック……………90
- 今村石材……………91
- 平塩清種……………91
- 長崎病院……………86
- 川堀病院……………87
- 平安堂梅坪……………88
- 木村神経科内科……………89
- 西日本日中旅行社……………90
- 横田安楽堂……………90
- 梶川病院……………87
- 創生俳句会……………88
- 西短歌会……………89
- 太陽俳句会……………90
- 江川皮ふ科クリニック……………91
- マスカン……………87